

# 企業のリスクマネジメントの高度化に向けた検討会

## 事務局説明資料

(経済産業省、金融庁)

**1. 本検討会の趣旨・目的**

**2. 足元の環境の変化**

## 1. 本検討会の趣旨・目的

近年、国内外で事業展開する企業は、自然災害の頻発・激甚化や地政学リスクの顕在化などにより、事業中断を余儀なくされるリスクや損失の拡大リスクが高まっていることから、企業におけるリスクマネジメントの取組みを強化していく重要性が高まっている。

こうした中、損害保険の活用も含め、企業がリスクを適切に管理しつつ、成長に向けた投資を推進していくことができるよう、関係者間での共通理解の醸成に取り組む。

(参考)金融行政方針 2025年8月公表

1.金融機能の更なる発揮を促し、持続的な成長に貢献する(4)損害保険を活用した企業のリスクマネジメントの促進

□ 国内外で事業展開する企業にとって、自然災害の頻発・激甚化、地政学リスクの顕在化などにより、事業中断を余儀なくされるリスクのほか、訴訟やインフレによる損害額の高騰を要因とする損失の拡大リスクが高まっている。企業がこうしたリスクを適切に管理しつつ、成長に向けた投資を推進していく観点からは、それぞれの企業やプロジェクトのリスクを個別に織り込んだ損害保険商品が取引される市場を育成していくことが重要である。このために、関係省庁とも連携し、企業と損害保険会社との間での具体的ニーズやリスク管理の知見に係るコミュニケーションを促し、関係者間での共通理解の醸成に取り組む。

## 2. 足元の環境の変化

### 保険をめぐる環境変化

#### 1. 自然災害の頻発化・激甚化

豪雨・台風などの災害が増加  
保険金支払いが急増し、損保会社の収益を圧迫  
再保険料の上昇により、引受余力（キャパシティ）が縮小

#### 2. 地政学リスクの顕在化

戦争・政治的暴力・経済制裁リスクの増加  
再保険会社は高リスク地域の引受を制限  
保険料率の上昇とカバー範囲の縮小（戦争・制裁除外など）

#### 3. ソーシャルインフレーション

損害賠償責任保険で支払い額が物価上昇以上に増加  
背景要因：高額賠償評決、集団訴訟増加、和解金額高騰、  
訴訟件数増加、社会的価値観の変化  
特に北米で顕著

#### 4. 新種リスクの増加

AI、サイバー攻撃など新しいリスク  
データ不足や予測困難性により引受が難しい

### 企業経営をめぐる環境変化

#### 1. 中長期的な成長投資

日本企業の業績は改善し、株価は大きく上昇する一方、成長投資は欧米と比べて伸び悩んでいる。

#### 2. 資本コストを重視した経営

資本市場等から企業に対し、資本コストを意識した経営の要請が高まる中、加重平均資本コスト（WACC）などの指標を用いて資本コストの最適化を模索する企業が増加。

#### 3. 株主への説明責任

企業の持続的な成長の実現に向けて、企業と株主の間での、中長期的な戦略や取組についての建設的な対話が一層重要に。

## 企業のリスクマネジメントの高度化が重要

リスクマネジメントの高度化により、事業の予見可能性の向上、CFの安定化、  
ならびに資本コストの削減に繋がり、一層の成長投資の後押しが期待される。